

ミニディスクロージャー誌

Mini Disclosure

平成23年9月期・事業の中間ご報告

地域と向き合う、次代につなぐ。信頼のFIDEA

フィデアホールディングス株式会社
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
<http://www.fidea.co.jp/>

株式会社 荘内銀行
〒997-8611 山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
<http://www.shonai.co.jp/>

株式会社 北都銀行
〒010-0001 秋田県秋田市中通三丁目1番41号
<http://www.hokutobank.co.jp/>



フィデアホールディングス株式会社



フィデアホールディングス株式会社

平素よりフィデアグループ、荘内銀行、北都銀行をご愛顧賜り誠にありがとうございます。平成23年9月期の事業のご報告を発刊いたしましたのでお届けいたします。

東日本大震災から、8か月余が経過しました。この間、復旧・復興に向けた動きは、地域の皆さんの懸命のご努力により着実に進展し、崩壊したサプライチェーンも急速に回復の途を歩んでおります。改めて「東北の底力」を感じていらっしゃる方々も多いと思います。また、被災地への義援金やボランティア活動などで人々の絆が大きく拡がり、そして世界各国からの熱い応援により日本全体が励まされました。

我が国では、少子高齢化、長引くデフレ経済、財政悪化、グローバル経済への対応など、多岐にわたる課題を抱える中でこの大震災が発生いたしました。国外に目を移せば、新興国が台頭する一方で、世界金融危機、欧州債務危機が表面化するなど、国際的な金融経済環境がパラダイムシフトを起こしていると言っても過言ではないように思います。

この我が国に留まらないグローバルな構造変化を前にして、我々だけ「現状維持」を望むことは現実的ではありません。震災の経験を、日本経済の停滞を打破し、新たに飛躍する機会に変えていく積極的で前向きな心

意気と大胆さが求められています。

東北地域には「日本の良いもの」が数多く存在しています。ここに住む我々が、新しい日本を創ろうとする意欲とビジョンをもって地域の復興に取り組む、これから日本の経済成長のエンジンとなりうる様々な資源を国際競争力ある価値に育てる努力を重ねることが必要です。また、その価値を世界に発信することも大切です。

フィデアグループは、東北初の広域金融グループとして、「地域を元気にする、リーダーを目指す」を合言葉に、金融面のご支援に留まらず、さまざまな分野で地域の発展に貢献してまいります。昨年8月にタイのカシコン銀行、本年8月にインドネシアのバンクネガラインドネシアと業務協力協定を締結したほか、中国銀聯のショッピングモールへの出店支援を行うなど、秋田、山形を中心とした東北の良いものを、アジアを中心とした世界に発信するお手伝いしております。また、お客さまの豊かさを創造する金融情報サービスの提供にも不断に努めてまいります。

これからも、地域の皆さまの信頼にお応えしてまいりますので、引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月



フィデアホールディングス株式会社
代表執行役社長 CEO
里村 正治



株式会社 荘内銀行
頭取 國井 英夫



株式会社 北都銀行
頭取 斉藤 永吉

Contents

F-News(フィデアホールディングストピックス)	1	貸出金の状況・金融再生法開示債権比率(荘内銀行・北都銀行)	10・11
F-News(荘内銀行・北都銀行トピックス)	2・3	預金等の状況・預り資産の状況(荘内銀行・北都銀行)	12・13
企業概要(フィデアホールディングス・荘内銀行・北都銀行)	4・5	財務諸表(単体)平成23年度中間決算の内容について(荘内銀行・北都銀行)	14・15
連結業績の状況(フィデアホールディングス)	6	株式関係のご案内(フィデアホールディングス)	16
中間連結財務諸表(フィデアホールディングス)	7	用語の解説	17
業績ハイライト(荘内銀行・北都銀行)	8・9		

※当ミニディスクロージャー誌では、計数は原則として単位未満切捨てのうえ表示しております。ただし、構成比につきましては端数を調整して表示しているものを含んでおります。



フィデアグループは、タイ国のカシコン銀行に続き、インドネシア共和国のバンクネガラインドネシア(本社:インドネシア ジャカルタ市、東京支店長:ガットゲンピロ ヌグロホ氏)との間で、業務協力協定を締結いたしました。

バンクネガラインドネシアは、インドネシア国内4位の国有商業銀行であり、日本国内の7つの地方銀行と業務協力協定を締結しており、東北ではフィデアグループが第1号の業務協力協定締結先となりました。

今回の業務協力協定により、フィデアグループを介して、既にインドネシアへ進出している、あるいは新たに進出を検討している地元企業・事業主の皆さまに、進出企業に係る情報交換や進出時のノウハウ交換、ビジネスマッチング、人材交流、投資家セミナーや視察団の派遣等、きめ細かい金融サービスを提供することが可能となりました。

昨今の成長著しいインドネシアは、1千社を超える日系企業が進出する一大拠点であり、秋田、山形、宮城各県の地元企業の進出も今後大いに見込まれます。

東北とインドネシア共和国の経済交流が今後ますます盛んになることを展望し、お互いが持つ地域情報を有効に活用することによって、お客さまに提供する金融情報サービスの充実させることを目的としています。

フィデアグループは、観光、メディカルケア、アグリビジネスや環境関連ビジネスなど、今後の経済成長をけん引しうる成長分野に対する支援を一層強化し、地域活性化に貢献する「地域のフロントランナー」となるべく取り組みを進めてまいります。

人民元建て貿易決済業務の取扱を開始

荘内銀行・北都銀行は、中国当局による人民元建て貿易決済の緩和措置に伴い、中国と貿易取引のあるお客さまのニーズにお応えするため、人民元建て仕向・被仕向送金の取り扱いを開始いたしました。今後ともお客さまの中国ビジネスに対するサポートを一層強化してまいります。

【留意点】人民元建て貿易決済は現状では試行段階であり、中国当局や現地銀行による取引制限や制度の変更の可能性が考えられます。お取引に際しては事前にご相談いただきますようお願いいたします。

経営統合2周年記念 懸賞付定期預金「湯り旅」PartIII

荘内銀行・北都銀行は、経営統合2周年を記念して、懸賞付定期預金「湯り旅」PartIIIを取り扱いしております。

大変ご好評いただいた定期預金「湯り旅」の第3弾となりますが、今年度は東日本大震災の被災地の復興を応援するため、岩手、宮城、福島県の温泉旅館や名産品を新たに追加しております。くわしくは、お近くの荘内・北都各支店の窓口までお気軽にお問い合わせください。(取扱期間:平成23年12月30日まで)



荘内銀行

イオン多賀城支店リニューアルオープン

営業時間 10:00~19:00(年中無休)

平成23年9月26日、イオン多賀城支店をリニューアルオープンいたしました。1階から2階に移転し、新たにキッズ・コーナーやライブラリースペースを設けました。



荘内銀行

森づくり活動『荘銀かねやま絆の森』

山形県金山町に『荘銀かねやま絆の森』を設置し、山形県及び地元的林業者と協働し森づくり活動を展開しております。今年は、原木にキノコの種駒を打ち込む林産物体験や森の防災機能について学ぶ勉強会、裾枝打ち・つる切りの作業体験を実施したほか、役職員の家族を招いて金山町の緑に触れる自然観察会や間伐材を用いた木工クラフト体験等を行いました。荘内銀行では、今後も環境活動を通じ「金山杉」ブランドの維持・管理に寄与しながら、これからの6次産業開拓・育成支援に向けて知識・ノウハウを吸収してまいります。



荘内銀行

地域行事への積極的な参加



(山形花笠まつり)



(おひや祭り)

山形花笠まつりをはじめとする県内各地の地域行事に、グループ役職員400名以上が参加し、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めるとともに地域の賑わい創出に貢献しました。荘内銀行は、「地域の発展とともにある銀行」としてさまざまな地域活動に参加してまいります。

荘内銀行

公益信託 荘内銀行ふるさと創造基金

山形県内において優れた人格と知性を備えた人間を育成し、あわせて優れた文化の伝承と創造の促進を目指し、真に豊かで潤いのある地域社会を築くために、学校教育、社会教育及び文化活動へ助成する公益信託を設定しております。平成23年度で11年目を迎え、延べ319件に助成を行っております。

公益信託のホームページ <http://www.shonai.co.jp/koueki/>
平成24年1月10日より平成24年度募集開始!(平成24年3月15日まで)(予定)



北都銀行

ほっくんインフォメーションカウンター(ほっくんi)の開設



平成23年10月2日、横手市のよねや「ハッピータウン」内において、ほっくんインフォメーションカウンター「ほっくんi」がオープンいたしました。

近隣の横手西支店のサテライト店舗として、少数のスタッフで運営され、運用商品や保険商品等のご相談に応じています。お客さまがお買い物ついでに気軽に来店していただき、快適にご利用いただけるよう努めております。



北都銀行

地域観光振興に向けた提言

フィデア総合研究所と協働で、秋田県男鹿市の観光振興に関する提言書を秋田県知事に提出しました。男鹿地域は男鹿国定公園があり、かつては東北地方有数の観光地でしたが、近年は観光客が減少しております。男鹿観光の再興を目指し、地場産品の販売拠点の設置やイベント誘致推進等の提言を行いました。

観光は秋田県の良さを県外にアピールする最大の産業であり、今後も官民が連携した取組みを推進していきます。



北都銀行

インストアランチの開設

ショッピングセンター内に年中無休で午後3時以降も営業する新たな銀行店舗スタイルである「インストアランチ」を開設しております。落ち着いた雰囲気店内には、ゆったりとした相談ブースを設置しておりますので、ローン、資産運用、年金などお気軽にご相談いただけます。また、個人のお客さま向けの通常窓口業務も行ってまいりますので、仕事帰りやお休みの日などお客さまのご都合に合わせてご利用いただけます。

平成23年5月1日に土崎南支店をイオン土崎港店内に移転し、秋田県内4か店目となるインストアランチとしてリニューアルオープンいたしました。



北都銀行

北都ビジネスクラブ

北都ビジネスクラブは、企業経営者の多様化・高度化するニーズに迅速・的確に対応し、企業の皆さまの本業をバックアップするための会員制組織で、情報誌やビジネス・レポートの提供、インターネットサービスのほか、地域経済の活性化と地元企業の振興を目的に「ビジネス商談会」を毎年開催しております。

今年9月、『北都ビジネスフォーラム2011(第13回ビジネス商談会)』を開催いたしました。秋田県内企業をはじめ、荘内銀行の取引先企業からの出展もあり、商談件数・マッチング件数は過去最高となりました。



フィデアホールディングス株式会社 (平成23年9月末日現在)

創 立 年 月 日	平成21年10月1日
本 店 所 在 地	宮城県仙台市青葉区中央三丁目1番24号
代 表 者	代表執行役社長 CEO 里村 正治
決 算 期	3月31日
連 結 従 業 員 数	1,893名
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部(証券コード 8713)

フィデアグループ (平成23年9月末日現在)

株式会社荘内銀行	北都銀ビジネスサービス株式会社
株式会社北都銀行	株式会社北都ソリューションズ
荘銀事務サービス株式会社	株式会社北都情報システムズ
荘銀カード株式会社	株式会社北都カードサービス
株式会社フィデアベンチャーキャピタル	北都チャレンジファンド1号投資事業組合
株式会社フィデア総合研究所	フィデア中小企業成長応援ファンド1号投資事業組合
北都総研株式会社	

大株主 (平成23年9月末日現在)

普通株式(上位10名)		
氏名又は名称	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
タイヨーパールファンドエルピー	6,795千株	4.73%
株式会社みずほコーポレート銀行	3,751千株	2.61%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,660千株	2.55%
フィデアホールディングス従業員持株会	2,649千株	1.84%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,629千株	1.13%
明治安田生命保険相互会社	1,494千株	1.04%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,460千株	1.01%
財団法人克念社	1,460千株	1.01%
廣野 撰	1,400千株	0.97%
みずほ信託銀行株式会社	1,307千株	0.91%

B種優先株式

氏名又は名称	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
株式会社整理回収機構	25,000千株	100.00%

(注)持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



「FIDEA」という名称は、「信頼」を意味するラテン語の“FIDES”と「連携」を意味する英語の“ALLIANCE”を組み合わせることで、「信頼で結ばれ、地域と共に繁栄する金融グループ」を作り上げたい、という意志を表しております。

また、シンボルマークは、東北で生まれ、地球全体へ大きく広がる、私たちの「夢」を表しています。特に、「F」から広がる翼は、銀行から金融情報サービス業へと脱皮し、東北地方から大きく広がる革新の情報ネットワークを象徴しています。

シンボルカラーのグリーンは、「安心感」、「自然」、「癒し」を、ライトグリーンは「フレッシュ」、「芽吹き」、「発展・成長」へのイメージを連想させます。

東北の雄大な「自然」、地域に密着した金融機関とお取引するお客さまの「安心」、そしてお客さまのお役に立つ金融情報サービスの芽吹きと成長、域外への発信と広がりを色彩面から表しています。

グループ理念〈FIDEA 5〉

私たちは、地域に密着した「広域金融グループ」として、
お客さまの高い満足と地域の発展のために、上質な「金融情報サービス」を提供し続ける。

- 常にインキュベーション、イノベーションを創発する「開かれたネットワーク」を目指す。
- 次代へのナビゲーション、ソリューションを提供する「お客さまのベストパートナー」となる。
- 過去の慣例にとらわれない発想とチャレンジにより「地域のフロントランナー」であり続ける。
- 人材を活かし、組織をつなぎ、価値創造へとリードする「金融情報サービスのプロ集団」となる。
- 顧客と社会の視点に立って、透明・公正・公開に徹する「信頼の金融グループ」であり続ける。

荘内銀行 (平成23年9月末日現在)

創業年月日	明治11年12月1日(第六十七国立銀行)
本店所在地	山形県鶴岡市本町一丁目9番7号
代表者	代表取締役頭取 國井 英夫
総資産	1兆718億円 貸出金残高/7,704億円
預金等残高	9,948億円 純資産/359億円
本支店・出張所数	79カ店(山形県内63カ店、宮城県内12カ店、福島県内2カ店、東京都、秋田県各1カ店)
従業員数	778名

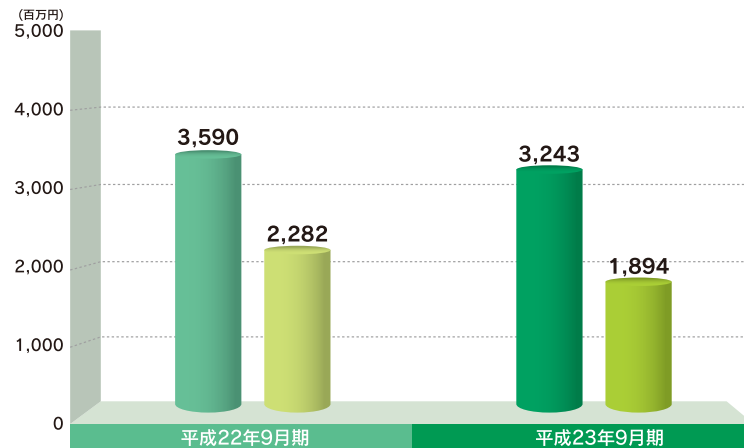
北都銀行 (平成23年9月末日現在)

創業年月日	明治28年5月3日(株式会社増田銀行)
本店所在地	秋田県秋田市中通三丁目1番41号
代表者	代表取締役頭取 斉藤 永吉
総資産	1兆2,201億円 貸出金残高/7,145億円
預金等残高	1兆1,544億円 純資産/344億円
本支店・出張所数	82カ店(秋田県内79カ店、東京都、山形県、宮城県各1カ店)
従業員数	874名

連結業績の状況

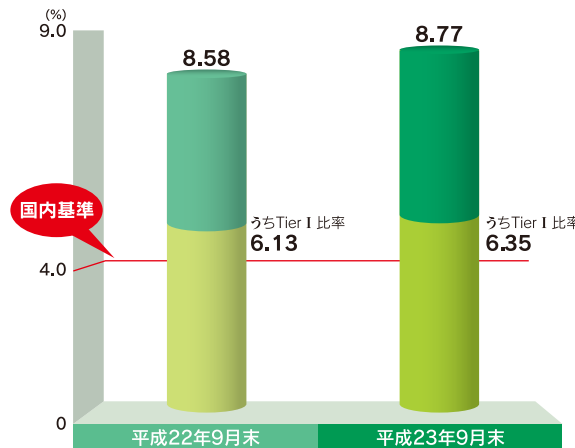
■ ファイデアホールディングス

経常利益・中間純利益



震災の影響などにより与信関係費用が増加し、経常利益は32億43百万円、中間純利益18億94百万円と、前年同期比減益となりました。

連結自己資本比率



グループ連結の自己資本比率は、内部留保の積み上げ等により、前年同期比0.19ポイント上昇し、8.77%となり、Tier I 比率は前年同期比0.22ポイント上昇し、6.35%となりました。

連結決算の状況

科目	平成23年9月期		平成22年9月期
	金額	前期比	
連結粗利益	19,416	54	19,362
資金利益	15,236	△398	15,634
役員取引等利益	3,011	△305	3,317
その他業務利益	1,169	758	410
うち国債等債券損益	1,200	1,366	△165
営業経費	14,455	△150	14,605
その他経常損益	△1,717	△552	△1,165
うち株式等関係損益	△147	△70	△76
経常利益	3,243	△347	3,590
中間純利益	1,894	△387	2,282
与信関係費用	2,144	808	1,335

(単位:億円)			
科目	平成23年9月期	平成22年9月期	
総資産	22,749	932	21,817
預金等	21,384	1,255	20,128
貸出金	14,788	573	14,214
有価証券	6,854	684	6,170

中間連結財務諸表

■ ファイデアホールディングス

中間連結貸借対照表 (平成23年9月30日現在)

(資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
現金預け金	51,469	
コールローン及び買入手形	3,000	
買入金銭債権	5,322	
商品有価証券	442	
金銭の信託	1,935	
有価証券	685,481	
貸出金	1,478,823	
外国為替	2,229	
その他資産	10,700	
有形固定資産	23,203	
無形固定資産	1,456	
繰延税金資産	15,209	
支払承諾見返	14,307	
貸倒引当金	△18,638	
資産の部合計	2,274,941	

(負債の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
預金	2,021,474	
譲渡性預金	116,946	
コールマネー及び売渡手形	7,252	
借入金	22,510	
外国為替	9	
社債	10,000	
その他負債	22,613	
賞与引当金	367	
退職給付引当金	2,114	
睡眠預金払戻損失引当金	310	
偶発損失引当金	310	
その他の引当金	59	
繰延税金負債	16	
再評価に係る繰延税金負債	762	
支払承諾	14,307	
負債の部合計	2,219,055	

(純資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
資本金	15,000	
資本剰余金	24,744	
利益剰余金	17,784	
自己株式	△0	
株主資本合計	57,528	
その他有価証券評価差額金	△4,734	
繰延ヘッジ損益	△17	
土地再評価差額金	1,024	
その他の包括利益累計額合計	△3,727	
少数株主持分	2,084	
純資産の部合計	55,885	
負債及び純資産の部合計	2,274,941	

中間連結損益計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	24,870
資金運用収益	16,832
うち貸出金利息	(14,371)
うち有価証券利息配当金	(2,389)
役員取引等収益	4,348
その他業務収益	2,528
その他経常収益	1,160
経常費用	21,626
資金調達費用	1,596
うち預金利息	(1,331)
役員取引等費用	1,337
その他業務費用	1,358
営業経費	14,455
その他経常費用	2,878
経常利益	3,243
特別利益	6
特別損失	86
税金等調整前中間純利益	3,163
法人税、住民税及び事業税	183
法人税等調整額	1,083
法人税等合計	1,267
少数株主損益調整前中間純利益	1,895
少数株主利益	1
中間純利益	1,894

中間連結包括利益計算書 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
少数株主損益調整前中間純利益	1,895
その他の包括利益	△1,416
その他有価証券評価差額金	△1,416
繰延ヘッジ損益	0
中間包括利益	479
親会社株主に係る中間包括利益	478
少数株主に係る中間包括利益	0

中間連結株主資本等変動計算書(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,000	24,744	16,764	△0	56,508	△3,318	△17	1,024	△2,311	2,136	56,333
当中間期変動額	-	-	△875	-	△875	-	-	-	-	-	△875
剰余金の配当	-	-	1,894	-	1,894	-	-	-	-	-	1,894
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0	-	-	-	-	-	△0
連結子会社減少に伴う増加高	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△1,415	0	-	△1,415	△51	△1,467
当中間期変動額合計	-	-	1,020	△0	1,019	△1,415	0	-	△1,415	△51	△447
当中間期末残高	15,000	24,744	17,784	△0	57,528	△4,734	△17	1,024	△3,727	2,084	55,885

業績ハイライト

■ 荘内銀行

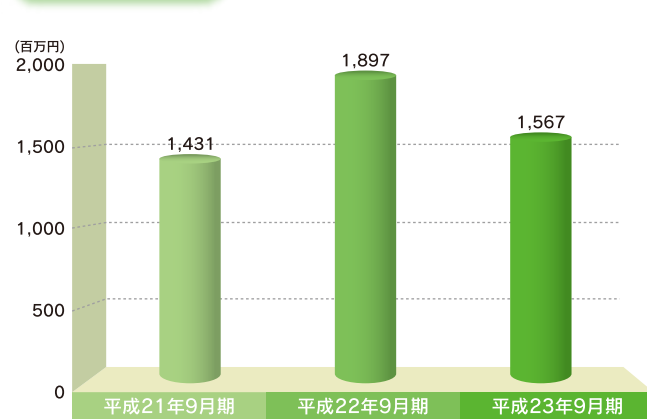
平成23年度中間決算の内容について

収益の状況(単体ベース)

コア業務純益



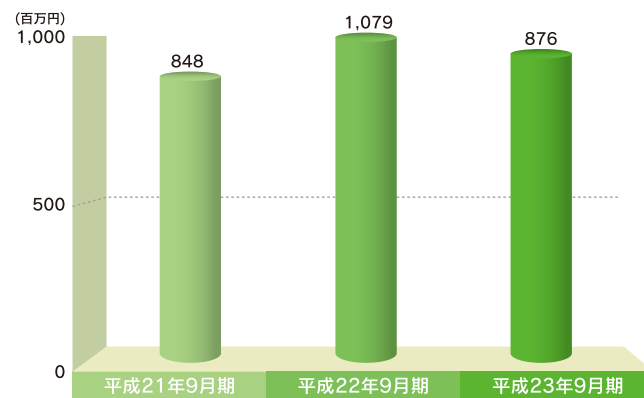
経常利益



コア業務純益は、役員取引等利益の減少により前年同期比47百万円減少しました。

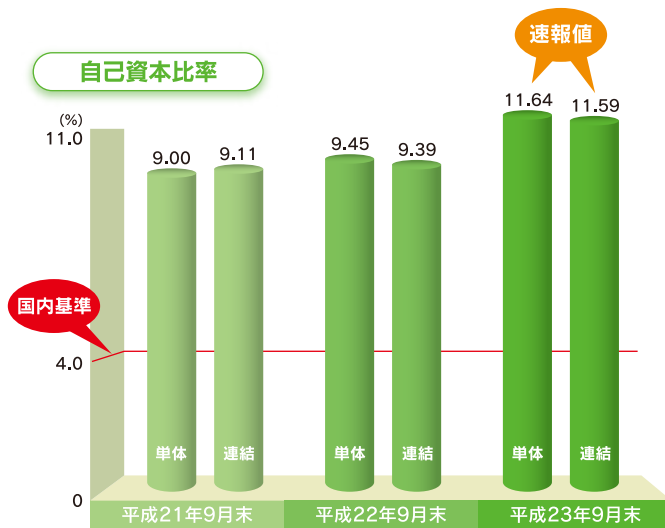
経常利益は、資金利益の増加や経費の減少があったものの与信関係費用の増加等により、前年同期比約3億円減少しました。

中間純利益



中間純利益は、前年同期比約2億円減少しました。

自己資本比率



自己資本比率は、フィデアHDによる自己株式の買入消却等により、単体で11.64%、連結で11.59%とそれぞれ上昇しました。

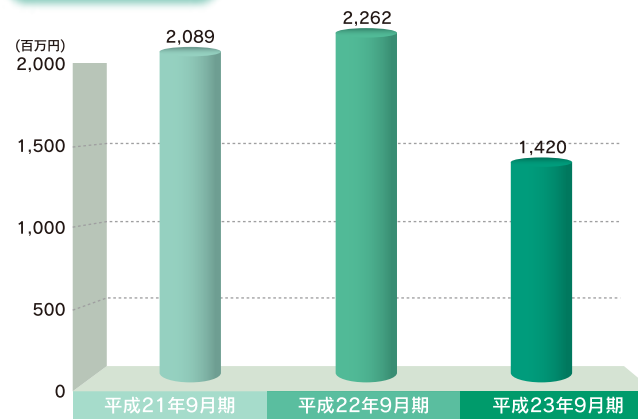
業績ハイライト

■ 北都銀行

平成23年度中間決算の内容について

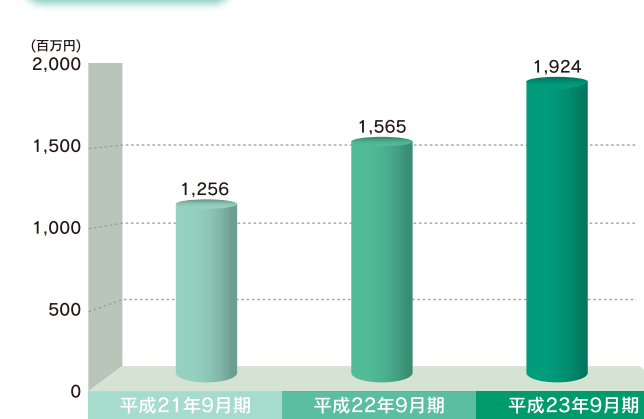
収益の状況(単体ベース)

コア業務純益



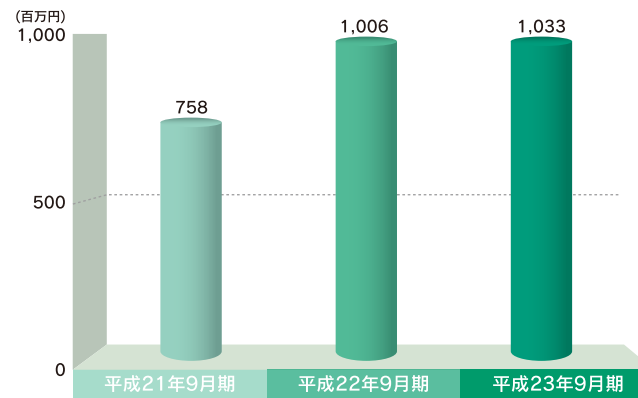
コア業務純益は、金利環境の変化などにより前年同期比約8億円減少しました。

経常利益



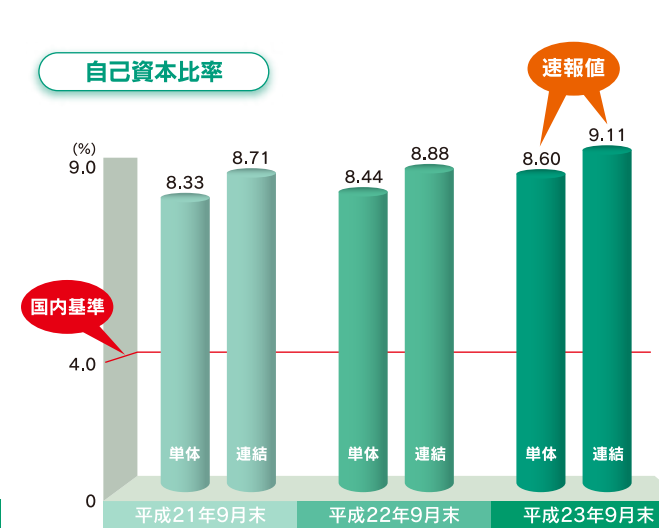
経常利益は、有価証券関連損益の増加や与信関係費用の減少などにより、前年同期比約3億円増加しました。

中間純利益



中間純利益は、前年同期比横ばいの10億円となりました。

自己資本比率



自己資本比率は、内部留保の増加により、単体で8.60%、連結で9.11%に上昇しました。

業績ハイライト
荘内銀行

業績ハイライト
北都銀行

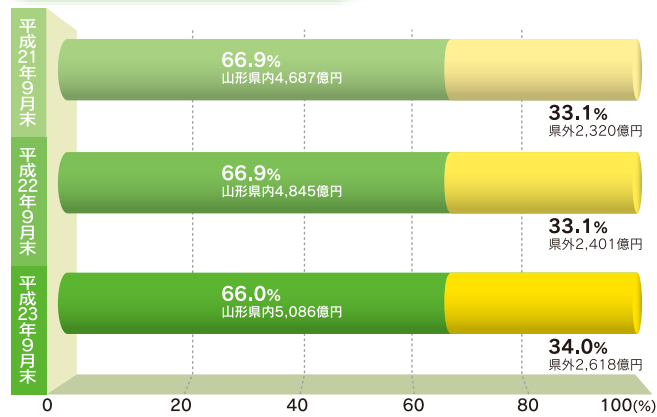
貸出金の状況・金融再生法開示債権比率

■ 荘内銀行

貸出金の状況・金融再生法開示債権比率

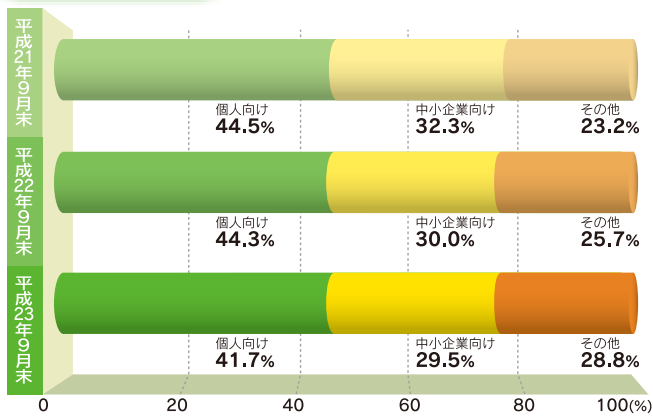
■ 北都銀行

地域別貸出金残高・比率



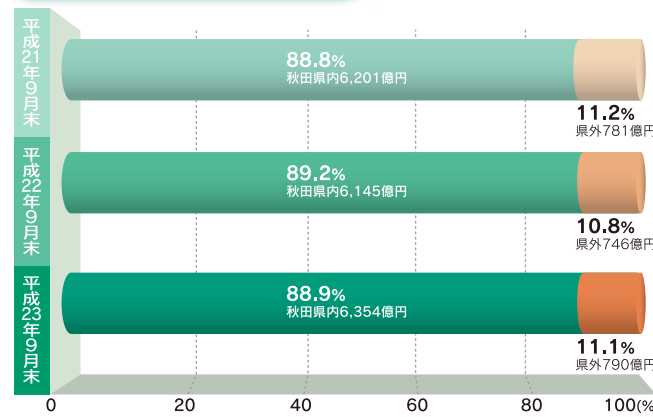
貸出金のうち、山形県内の貸出金は5,086億円、比率は66.0%です。また、県外のうち宮城県内の貸出金が1,433億円となっております。

貸出先別内訳



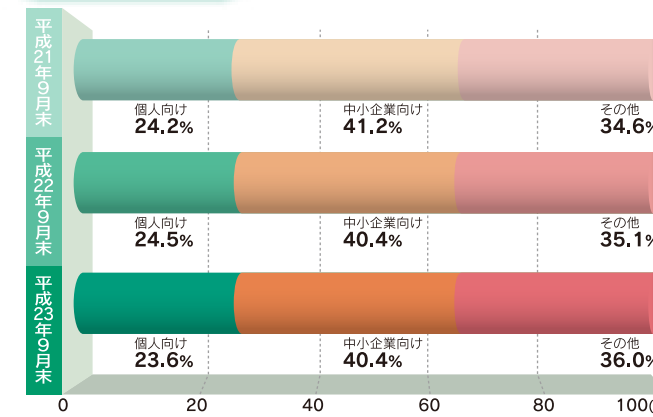
中小企業と個人向けの貸出が、貸出金残高の71.2%を占めております。

地域別貸出金残高・比率



貸出金のうち、秋田県内の貸出金は6,354億円、比率は88.9%です。

貸出先別内訳



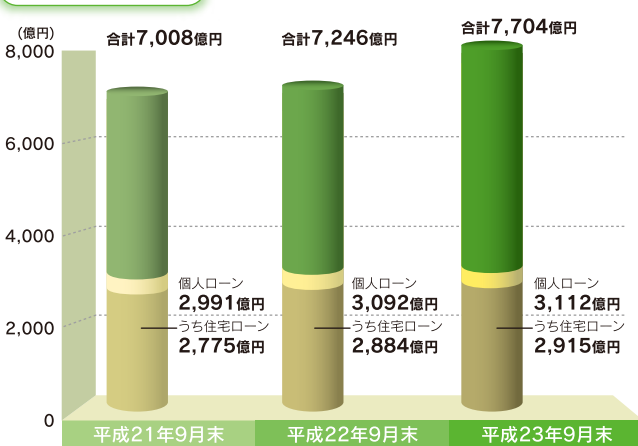
中小企業向けの貸出金は2,885億円で、貸出金の40.4%を占めております。

貸出金残高 **7,704億円**

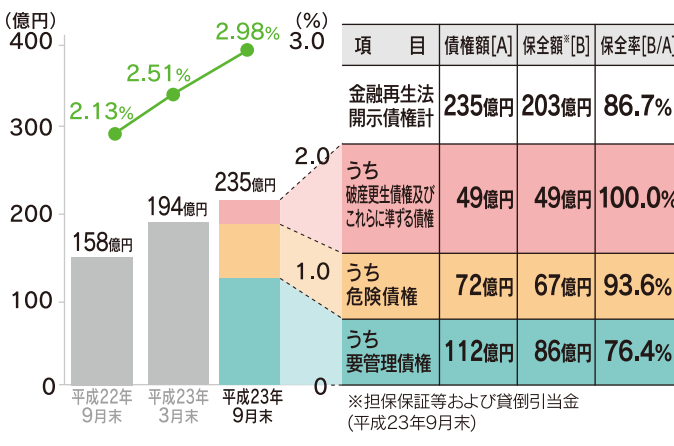
資産内容の状況

金融再生法開示債権及び比率の推移

金融再生法に基づく開示債権と保全の状況(単体)



貸出金残高は、地方公共団体向け貸出や事業性貸出を中心に増加し、前年同期比458億円増加の7,704億円となりました。



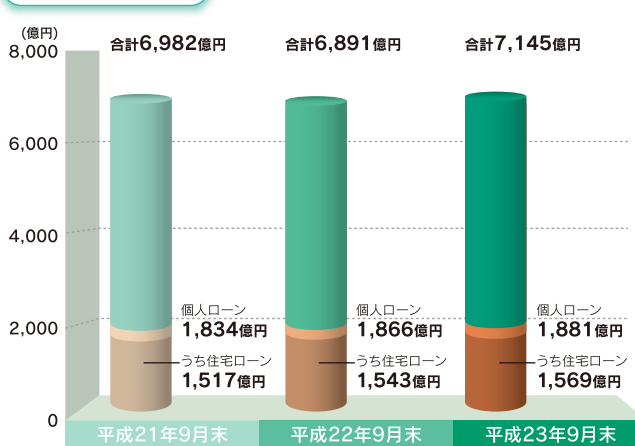
金融再生法に基づく開示債権額は、震災の影響により住宅ローン等の条件変更に対応したことから前年同期比76億円増加の235億円となり、総与信に占める割合は2.98%と上昇いたしました。

貸出金残高 **7,145億円**

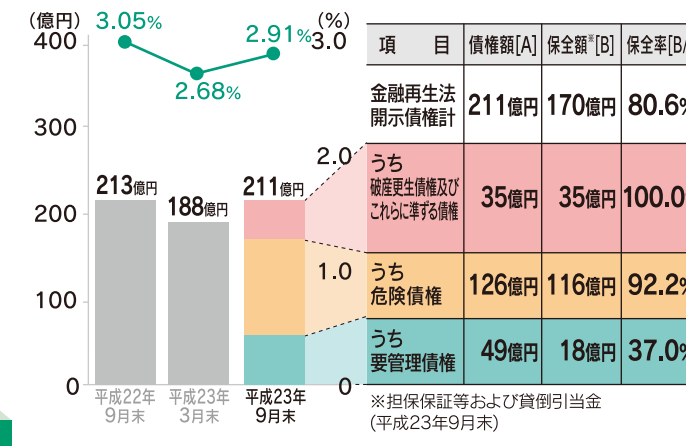
資産内容の状況

金融再生法開示債権及び比率の推移

金融再生法に基づく開示債権と保全の状況(単体)



貸出金は、住宅ローン、地公体向け貸出を中心に増加し、前期比253億円増加の7,145億円となりました。

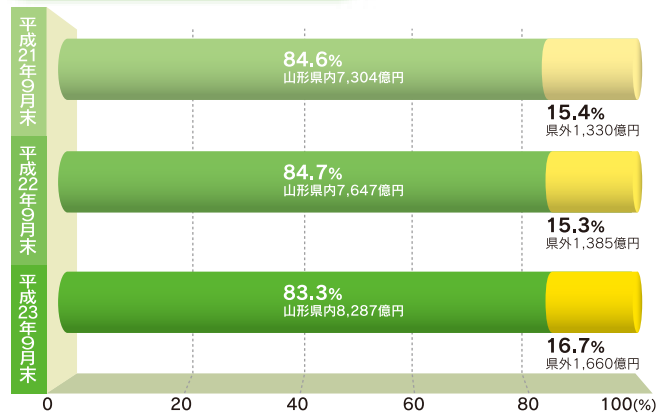


子会社である北都ソリューションズと連携した課題解決型営業の展開により、開示債権比率は前年同期比△0.14ポイントと低下しております。

預金等の状況・預り資産の状況

■ 荘内銀行

地域別総預金残高・比率

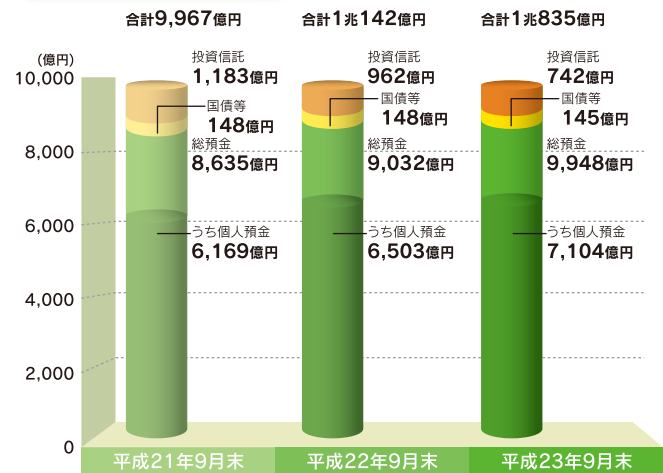


総預金残高のうち、山形県内の預金は8,287億円、比率は83.3%となっております。また、県外のうち宮城県内の預金が1,187億円となっております。

総預金残高 **9,948億円**

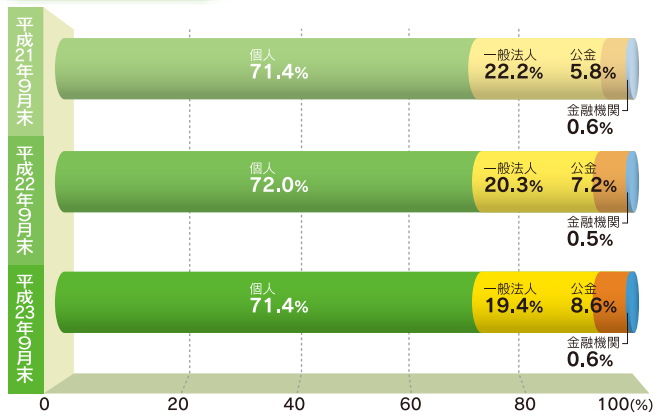
譲渡性預金を含んでおります。

預り資産残高



個人預金が前年同期比600億円増加するなどして総預金、投資信託、国債等をあわせた預り資産残高は、前年同期比693億円増加し1兆835億円となりました。

預金者別内訳



個人預金は7,104億円で、総預金残高の71.4%を占めております。

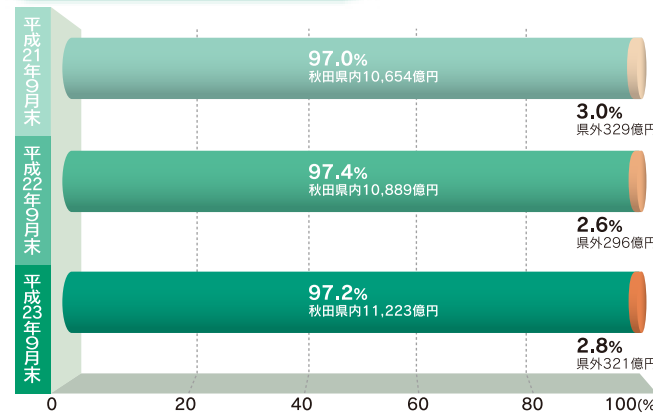


上杉雪灯籠まつり (山形県米沢市)

預金等の状況・預り資産の状況

■ 北都銀行

地域別総預金残高・比率

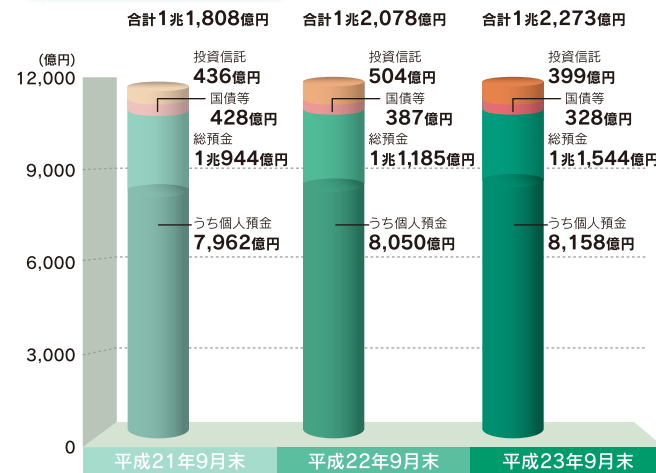


総預金残高のうち、秋田県内の預金は1兆1,223億円、比率は97.2%となっております。

総預金残高 **1兆1,544億円**

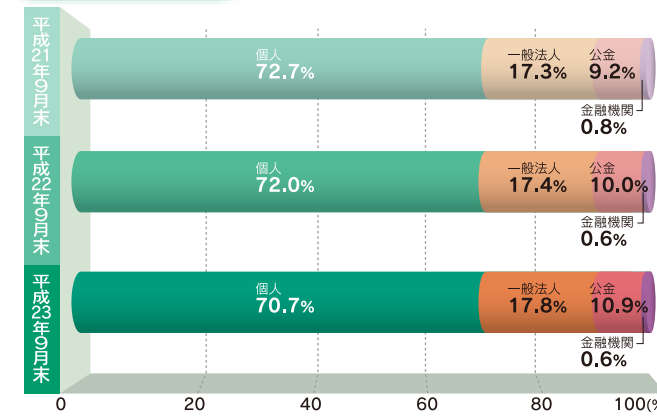
譲渡性預金を含んでおります。

預り資産残高



個人預金が前年同期比108億円増加するなどして総預金、投資信託、国債等をあわせた預り資産残高は、前年同期比195億円増加し1兆2,273億円となりました。

預金者別内訳



個人預金は8,158億円で、総預金残高の70.7%を占めております。



犬っこまつり (秋田県湯沢市)

預金等の状況・預り資産の状況

荘内銀行

預金等の状況・預り資産の状況

北都銀行

財務諸表(単体)平成23年度中間決算の内容について

■ 荘内銀行

中間貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
現金預け金	22,092	
コールローン	3,000	
買入金銭債権	1,049	
商品有価証券	103	
金銭の信託	957	
有価証券	250,321	
貸出金	770,415	
外国為替	1,266	
その他資産	4,710	
有形固定資産	12,081	
無形固定資産	506	
繰延税金資産	6,027	
支払承諾見返	5,144	
貸倒引当金	△5,809	
資産の部合計	1,071,868	

(負債の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
預金	951,566	
譲渡性預金	43,283	
コールマネー	7,252	
借入金	8,820	
社債	10,000	
その他負債	8,030	
退職給付引当金	900	
睡眠預金払戻損失引当金	106	
偶発損失引当金	93	
再評価に係る繰延税金負債	762	
支払承諾	5,144	
負債の部合計	1,035,962	

(純資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
資本金	7,000	
資本剰余金	18,808	
利益剰余金	12,845	
株主資本合計	38,654	
その他有価証券評価差額金	△3,755	
繰延ヘッジ損益	△17	
土地再評価差額金	1,024	
評価・換算差額等合計	△2,748	
純資産の部合計	35,905	
負債及び純資産の部合計	1,071,868	

中間損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	11,358
資金運用収益	8,459
(うち貸出金利息)	7,365
(うち有価証券利息配当金)	1,078
役務取引等収益	1,939
その他業務収益	604
その他経常収益	354
経常費用	9,790
資金調達費用	944
(うち預金利息)	710
役務取引等費用	944
その他業務費用	244
営業経費	6,566
その他経常費用	1,089
経常利益	1,567
特別利益	0
特別損失	—
税引前中間純利益	1,568
法人税、住民税及び事業税	48
法人税等調整額	643
法人税等合計	691
中間純利益	876

財務諸表(単体)平成23年度中間決算の内容について

■ 北都銀行

中間貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
現金預け金	29,305	
買入金銭債権	2,015	
商品有価証券	338	
金銭の信託	977	
有価証券	445,097	
貸出金	714,519	
外国為替	962	
その他資産	4,841	
有形固定資産	14,081	
無形固定資産	347	
繰延税金資産	8,071	
支払承諾見返	9,188	
貸倒引当金	△8,159	
投資損失引当金	△1,460	
資産の部合計	1,220,128	

(負債の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
預金	1,078,524	
譲渡性預金	75,963	
借入金	13,690	
外国為替	9	
その他負債	5,941	
賞与引当金	286	
睡眠預金払戻損失引当金	204	
偶発損失引当金	217	
再評価に係る繰延税金負債	1,702	
支払承諾	9,188	
負債の部合計	1,185,726	

(純資産の部)		(単位:百万円)
科目	金額	
資本金	11,000	
資本剰余金	18,499	
利益剰余金	2,449	
株主資本合計	31,949	
その他有価証券評価差額金	376	
土地再評価差額金	2,075	
評価・換算差額等合計	2,452	
純資産の部合計	34,401	
負債及び純資産の部合計	1,220,128	

中間損益計算書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位:百万円)	
科目	金額
経常収益	11,769
資金運用収益	8,356
(うち貸出金利息)	(6,697)
(うち有価証券利息配当金)	(1,602)
役務取引等収益	1,936
その他業務収益	1,036
その他経常収益	440
経常費用	9,844
資金調達費用	651
(うち預金利息)	(622)
役務取引等費用	547
その他業務費用	439
営業経費	7,457
その他経常費用	747
経常利益	1,924
特別利益	5
特別損失	83
税引前中間純利益	1,846
法人税、住民税及び事業税	14
法人税等調整額	799
法人税等合計	813
中間純利益	1,033

●事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までです。

●定時株主総会

毎事業年度の終了後3カ月以内に開催いたします。

●基準日

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、定時株主総会において権利を行使できる株主といたします。そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

●剰余金の配当等

剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に掲げる事項については、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって定めます。
なお、期末配当の基準日は毎年3月31日、中間配当の基準日は毎年9月30日といたします。また、この他基準日を定めて剰余金の配当をすることがあります。

●公告方法

当社の公告は、電子公告により行い、当社ホームページ (<http://www.fidea.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、宮城県仙台市において発行する河北新報、山形県山形市において発行する山形新聞、秋田県秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

●株主名簿管理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

●同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

株式についてのご照会や諸届出書のご提出、単元未満株式の買取及び買増請求等につきましては、以下の窓口にお問い合わせください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行の全国本支店でもお取扱いたします。

【コア業務純益】

預貸金業務、有価証券の保有などから得られる資金利益や為替業務、フィービジネスなどによる役務取引等利益などの合計額から経費を差し引いたもので、銀行の中核的な業務から得られる利益を示したものです。

【金融再生法に基づく開示債権】

貸出金のほか、銀行保証付私募債・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金・貸付有価証券について、どのような状況にあるかお知らせするもので、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」・「危険債権」・「要管理債権」をあわせたものです。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続き等の事由により経営破綻に陥っているお取引先に対する債権及びこれらに準ずる債権。

危険債権

お取引先が経営破綻の状態に至っていないものの、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

お取引先の財政状態及び経営の成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外に区分される債権。

【自己資本比率】

貸出金などの総資産に対する自己資本の割合で、銀行経営の健全性を示す重要な指標のひとつです。銀行法上の基準は、国内基準で4%となっており、両行は国内基準を採用しております。両行の連結自己資本比率(国内基準)及び単体自己資本比率(国内基準)は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

【貸借対照表】

銀行の財産の状態を表したものであり、資金をどのように調達し、運用しているか等を示しています。

資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」等、主に資金の運用状況を表しています。

負債の部

お客さまからお預りしている「預金」「譲渡性預金」等、主に資金の調達状況を表しています。

純資産の部

株主の皆さまからのご出資である「資本金」や「利益剰余金」等を表しています。

【損益計算書】

期中における銀行の経営成績を表したものです。

経常収益

貸出金利息や各種手数料等の収益を表しています。

経常費用

預金利息や営業経費等の費用を表しています。

経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益を表しています。

中間純利益

会計期間の中間における経常利益から特別損益および法人税等を加除した最終的な利益を表しています。